

外研社・三省堂



皇冠 汉日词典

クラウン中日辞典

【总序】

(三) 松岡泰志 (主編)

松岡泰志

白井啓介

代田哲明

外研社与三省堂出版

H366

48

外研社・二有呈



皇冠 汉日词典

クラウン中日辞典

[編著]

(日) 松岡榮志 (主幹)

樋口靖

白井啓介

代田智明

外语教学与研究出版社

(京)新登字 155 号

京权图字 01-2002-0837

图书在版编目(CIP)数据

外研社·三省堂皇冠汉日词典/(日)松冈荣志主编. —北京:外语教学与研究出版社, 2003.7

ISBN 7-5600-3726-7

I. 外… II. 松… III. ①日语-词典 ②词典-汉、日 IV. H366

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2003)第 061176 号

CROWN CHUNICHI JITEN

Copyright © 2001 by SANSEIDO Co., Ltd.

Reprint rights in China arranged with SANSEIDO Co., Ltd.

through Japan UNI Agency, Inc., Tokyo

外研社·三省堂皇冠汉日词典

主编: (日) 松冈荣志

* * *

责任编辑: 钟 诚

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京外国语大学印刷厂

开 本: 850×1168 1/32

印 张: 53.25

版 次: 2003 年 10 月第 1 版 2003 年 10 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 7-5600-3726-7/H·1875

定 价: 74.90 元

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励 (010)68917826

版权保护办公室举报电话: (010)68917519

出版说明

《外研社·三省堂皇冠汉日词典》是一部综合性很强的中型汉日词典,内容涉及当今中国的社会、文化、历史、科技、人名、地名等等,供国内外广大日语、汉语学习者和从事日语、汉语翻译、教学及社会科学文化研究工作者使用。

本词典是由松冈荣志先生(东京学艺大学教授)、樋口靖先生(东京外国语大学教授)、白井启介先生(日本文教大学教授)、代田智明先生(东京大学教授)等,经过六年的艰辛编著而成,由日本三省堂在新世纪之初最新出版的一部中型汉日词典。外语教学与研究出版社为了满足广大读者在学习上的需求,从日本三省堂原版引进了该词典。

这部词典的特色如下:

一、收词刻意新颖、范围广泛,凡现代汉语中使用的词,尽量收入。特别是对于近年来出现的一些新词,也大量地加以收入。

二、释义力求准确、规范。对每个字、词、词组、成语、谚语、短句等,尽量译出其相应的日语意义,并且为了帮助读者加深了解词义、词性,加入了大量的例句,以使读者能够灵活运用及掌握。

三、在一般语汇之外,还收录了一些常见的方言词语、方言意义。

四、词条中含有表现、用法、比较、由来、参考、注意等多种学习栏目,提高学习效率。

五、配有大量的精彩插图,愉悦读者、活跃气氛。

六、在词典后面附有查阅便利、非常实用的日汉小词典。

在跨入新世纪的今天,中日两国人民在科技、文化、人员等方方面面的交流与日俱增,学习和掌握好对方的语言就是其中一个重要的方面,愿《外研社·三省堂皇冠汉日词典》给您以最大的帮助,那将是我们最大的荣幸。

外研社

2003年8月

本词典编校人员

[編著]

松岡榮志(主幹)	東京学芸大学教授
樋口 靖	東京外国語大学教授
白井啓介	文教大学教授
代田智明	東京大学教授

[原稿校閲]

范 建明	電気通信大学外国人教師
田 偉	(財)霞山会 東亜学院講師
馮 日珍	文教大学講師
日原きよみ	東京女子大学講師
村越貴代美	慶應義塾大学助教授

[原稿執筆及び校正]

王 聡	沈 小南	矢部月紅	姚 毅
李 明敏	上野倫代	荻原由美子	木村 守
桑野信子	黒木千恵子	是恒伸子	佐々木そのみ
佐々木真理子	鈴木かおり	鈴木三恵子	関久美子
田中良司	戸崎まち子	戸田佐智子	中西裕樹
舟部淑子	古谷 秀	本多方子	松岡 格
森田幸子	山谷悦子	林 文瑩	渡辺志津夫

[挿絵] はやし まきこ 森 葉奈

は　じ　め　に

私たちが、この辞典の編纂を始めたのは、今から6年前、1995年のことです。

何よりもまず私たちが目指したのは、「文化の香りのする辞典」でした。辞典を手にとって、最初のページを開いたとき、紙とインクの香りにまじって、何とも言えない文化の香りが立ち上ってくる辞典、そんな辞典ができたらいいな、と思ったのです。

次に、「役に立つ辞典」であってほしい、と思いました。中国語の勉強を始めたみなさんが、毎日使うたびに、「うん、これは役に立つ」と言ってもらえる辞典。これは、実は究極の理想であって、これから版を重ねるたびに一步一步近づいていくための目標でもあります。そのためのしっかりした土台を作りたい、と思いました。

さらに、「わかりやすい辞典」でなくてはならない、と思いました。現代中国の生活がよくわかる辞典、歴史や文化、人名や地名もわかる辞典、そんな欲張りですが、しかしわかりやすい辞典がほしい、と強く思いました。もちろん、文字では表現しにくいものは、図やイラストを活用して、できるだけ具体的な説明をめざしました。

そして、「見やすく持ちやすい辞典」であること。毎日手元において、雨の日も風の日も、家でも教室でも、それから電車の中でも歩きながらでも、思ったときにすぐに引ける辞典。見やすく、読みやすい文字やページレイアウト。どんな細かなことであってもおろそかにせず、できうる限り心を込めて作りあげました。

そして6年の歳月が過ぎ、ここに今、私たちの辞典は誕生します。

この辞典を育てていくのは、あなた自身です。どうか、あなたの手で真っ黒になるまで引いてあげてください。表紙の文字がかすれるまで、いつも身近においてください。そして、どんな小さなことでも、何か気づいたことがありましたら、ぜひ知らせてください。

ことばは、心のかけ橋です。この橋は、多くの人によって作られ、多くの人がその上をわたっていきます。

私たちの辞典がその橋の礎石の一つになることを、心から願っています。

杉　岡　榮　子

2001.10.

「中国語」の基礎知識と本辞典の特色

0. はじめに

これから、中国語を学習するに当たって、とりあえず知っておいていただきたいことのいくつかを紹介します。また、本辞典の使う上での特色なども併せて紹介します(詳しくは、巻末に収めた「レファレンス案内」をぜひ参照してください)。

1. 「中国語」とは

「中国語」は、英語では“Chinese”ですが、中国語では“汉语 Hànyǔ”(「漢語」)、“国語 Guóyǔ”(「国語」)、“华语 Huáyǔ”(「華語」)、“中文 Zhōngwén”(「中文」) などと呼ばれます。

“汉语 Hànyǔ”は、漢民族が使っていることは、という意味で、英語、日本語、中国語などというように、言語の種類を厳密に指し示す場合に使われます。そして、現在使われているものは“現代汉语 xiàndài Hànyǔ”(「現代漢語」)、“古い時代に使われていたものは、”古代汉语 gùdài Hànyǔ”(「古代漢語」)といえます。

“国語 Guóyǔ”は、主に中国の台湾省で使われている中国語をいいます。本来は、中華民国時代に大陸で使われていたもので、現在の「普通話」に相当します。もちろん、ふだんの生活では、閩方言を使う人もたくさんいますが、学校では“国語 Guóyǔ”が教えられています。

“华语 Huáyǔ”は、シンガポールやマレーシアなどで中国語を呼ぶいいかたです。シンガポールやマレーシアなどには、かつて中国の福建省や広東省などからやってきた華僑の人たちがたくさん住んでいます。その人たちは、この地域では“華人 Huárén”(「華人」)と呼んでいるため、華人たちが使うことばという意味で“华语 Huáyǔ”というのです。“中文 Zhōngwén”は、話しことばでよく使われます。

2. 「普通話」(共通語)とは

さて、一口に中国語といっても、土地が広く、人口も多い中国で話されていることばですから、多種多様です。そこで、共通に使われることば「普通話」(中国語では、“普通話 pǔtōnghuà”)を教え、学ぶ必要があります。「普通話」は、

- ① 現代の北京で話されている発音を標準とする。
- ② 北方の方言を基礎の方言とする。
- ③ 現代の口語文の作品を文法の規範とする。

という方針に基づいて、1955年に開かれた「全国文字改革会議」においてその推進が決議されました。それを受けて、全国の小、中、高校において、「普通話」の普及が進められた結果、今日では多くの人が「普通話」を使えるようになりました。どんな地方に行っても、また世界のどこに行っても、まず「普通話」を使えることが、コミュニケーションの第一歩です。本辞典は、この「普通話」を読み、書き、話すための学習において、大いに役立つよう編集されています。

3. 中国の漢字

現在の中国で使われているのは、「簡化字」(中国語では、“簡化字 jiǎnhuàzì”)と呼ばれる中国特有の簡略化された漢字です。本辞典の見出し語や熟語、さらには用例にもこの「簡化字」が使われています。この「簡化字」が、國務院から公布されたのは1956年1月ですから、すでに45年の月日がたちました。古典の印刷や特別な用途を除いては、新聞や雑誌、学校の教科書や一般の書物など、社会生活の中ではこの「簡化字」が、正式な文字とされています。中国の台湾や香港などでは、まだ「繁体字」(中国語では、“繁体字 fántǐzì”, 旧字のこと)が使われていますが、中国大陸では「繁体字」を読んだり書いたりすることのできる若者はきわめて少なくなっています。

さて、本辞典には「常用字」(中国語では、“常用字 chángyòngzì”)3500字(「常用字」+「次常用字」)と、それらを含んだ「通用字」(中国語では“通用字 tōngyòngzì”)7000字がすべて収められています。現在、中国の小学校では“常用字”2500字、中学校では“次常用字”1000字を学習することになっています。現在発行されている新聞や雑誌から抽出された200万字の資料を調査したところ、“常用字”2500字で97.97%、“次常用字”1000字で1.51%、あわせて99.48%をカバーできることがわかりました。それ以外の“通用字”3500字でカバーしているのは、わずか0.5%にすぎません。専門的な文字や特別な異体字を除けば、ほぼすべてカバーしていると言ってよいでしょう。本辞典には、その他の繁体字や異体字も相当数収録しているので、みなさんの学習には十分だといえます。また、親字には発音のみならず、部首、総画、四角號碼の情報を付け加えました。

みなさんに注意していただきたいのは、日本の漢字と似ていて違うものです。

たとえば、

日本語	宮	辺	器	画
中国語	宮	边	器	画

など、よくよく注意して字形を確かめてください。また、筆順も日本とかなり違うものがありますから要注意です。

4. 「ピンイン」とは

中国では、発音をあらわすのに「拼音字母 pīnyīn zìmǔ」(略して「ピンイン」)が使われています。これは、中国式のローマ字です。ですから、日本のローマ字のつもりで読むと、発音がめちゃくちゃになります。発音の苦手な人の多くが、この誤りを犯していますから、十分注意しましょう。

さて、「ピンイン」は1958年2月に公布されて以来、全国の小学校で入学と同時に学習することになっています。また、「普通話」の国内での普及や外国人の中国語学習に大いに役立っています。1977年からは、国連での地名表記には「ピンイン」を用いることになりました。1982年には、ISO(国際標準化機構)においても、中国語を表記する場合に「ピンイン」を用いることが国際標準と決められました。公式の書類では、すべて「ピンイン」が使われています。

「ピンイン」は、文頭と固有名詞のはじめに大文字を使います。人名の場合には、姓と名のはじめを大文字にします。たとえば、毛沢東の場合は、Máo Zédōng とします。

本辞典では、音節見出しのところに、中国の台湾で現在でも使われている「注音符号」と「国際音声記号(IPA)」と、日本語のカタカナ音をつけています。カタカナ音は、中国語の子音の大きな特徴である「有気、無気」の区別をしていません。また、「n, ng」などの区別もしてありません。そもそも、カタカナで中国語の発音をあらわすことは不可能なのですが、人名、地名などを中国語風に読むための目安としてつけました。利用する際には、十分注意してください。

5. 中国の方言

現代中国語(「漢語」)の方言は、大きく次の7つに分類されます。

① 官話(北方)方言

② 呉(ご)方言

③ 贛(かん)方言

④ 湘(しょう)方言

⑤ 閩(びん)方言

⑥ 客家(はっか)方言

⑦ 粵(えつ)方言

まず、①は共通語の基礎となる方言で、「長江(揚子江)」より北の地域を中心とした方言です。漢語を使う地域の約4分の3を占め、使用者は70%(7億人)以上にのぼると言われています。あまりに広大なので、さらに ア)華北官話(北京がその代表)、イ)西北官話(太原がその代表)、ウ)西南官話(成都がその代表)、エ)江淮官話(南京がその代表)の4つに分けることができます。子音に“zh, ch, sh, r”という巻舌音があり、また「r化」があるのが特徴です。

②は、浙江省の大部分や、上海、蘇州を中心とした地域の方言です。約7000万人が使用していると言われます。子音に濁音があります。

③は、江西省を中心とした地域で使われている方言です。約3000万人が使用していると言われます。贛(かん)は、江西省の別名です。

④は、湖南省の半分と広西省の一部で使われている方言です。約2500万人が使用していると言われます。

⑤は、福建省、広東省、台湾省などで使われている方言です。約4000万人が使用していると言われています。東南アジアの華僑の人々にも多く使われています。閩(びん)は、福建省の別名です。

⑥は、広東省梅県や四川省などの各地に散在する方言です。約3700万人が使用していると言われます。海外の華僑や台湾省の人々にも多く見られます。

⑦は、広東省、広西省で使われている方言です。「広東語」とも言われます。約4000万人が使用していると言われます。「声調」と呼ばれる高低アクセントの区別が、①では4つですが、⑦では、9から10もあるとされます。また、独自の方言用の文字を持っています。粵(えつ)は、広東省の別名です。

引き方ヘルプ 基本編

拼音がわかる場合は

本文へ

発音のABC順で配列

Wǒ gěi qī zi

我给妻子

部首索引

その漢字の部首から調べる方法。

簡体字は

P.(31)～(69)

繁体字・異体字は

P.(70)～(87)

例えば“写”なら…

- ① 部首を考えて、表紙裏の「部首一覧」で探す。
この場合は“冫”（ツカンむり）。
- ② 「部首一覧」に出ている“冫”のページをめくる。
- ③ “写”の部首を除いた画数を数える。
この場合3画なので“冫”の3画のところを探せば、“写”が本文の何ページに出ているかわかる。

親字

複数ある語釈の中から、この場合はどの意味になるか考えてみよう。

我 wǒ

戈部 3 (四) 2355
全 7 画 (常用)

- 〈代〉私、はく、一人称単数をあらわす。●〈代〉私たち、我々、一人称複数数をあらわす。Ⅰ～校 wǒ-xiào (私たちの学校) / Ⅱ～軍 wǒ-jūn (わが軍)。●(“你”と“我”、“你”と“我”と“他”を並列に用いて)大勢の人が一緒にいる、または互いにすることをあらわす。Ⅰ大家你帮～、～帮你、很快就把活儿干完了 (互いに助け合ったので、まもなく仕事は終

给(給) gěi

扌部 6 (四) 2816
全 9 画 (常用)

- Ⅰ〈動〉●与える。Ⅰ～我一个苹果 / 私にリンゴを一つ下さい。Ⅰ～你一个苹果 / あなたにリンゴを一つやろう。Ⅰ小李的话～了我不少启发 / 李さんてやる。Ⅱ〈前〉●…に。1) “给”前置詞句を動詞句の前に置いて、物の受け手を導く。Ⅰ～我寄封信来 / 私に手紙を下さい。Ⅰ我～她送去一束鲜花 / 私に彼女に花を一束送る (注意) 前置詞句と動詞句動詞に合わせて、より口語的な感じを出すために用いられる。Ⅳ (Gěi) 姓。⇒ 给 jǐ。

写(寫) xiě

一 部 3 (四) 3712
全 5 画 (常用)

- 〈動〉字を書く。Ⅰ～了几个字 (字をいくつか書いた) / 书～shūxiě (書く、書写する)。●〈動〉文章や詩をつづる。Ⅰ～了一首诗 (詩を一首つづった) / ～日記 (日記をつける)。●〈動〉描写する。Ⅰ～景 xiějǐng / ～实 xiěshí / 描～miáoxiě (描写する) / 抒～shūxiě (書きあらわす) ●

信 xìn

亻部 7 (四) 2026
全 9 画 (常用)

- 〈素〉確かだ、確実だ。Ⅰ～史 xìnshǐ (確かな歴史) / ～面有证。●〈素〉信用、信頼。Ⅰ～用 xìn (信用)。●〈名〉①物～wù / 印～yìn (公印)。②(封 fēng) 手紙。Ⅰ寄～(手紙を出す) / 书～shūxìn (手紙) / 介绍～jièshàoxìn (紹介状) / 给他写封～(彼に手紙を

熟語がない時

どの意味が確かめよう。

- ① 異読字はどれも引いてみよう。“给 gěi”には⇒ 给 jǐ の読み方もある。
- ② 意味を組み合わせてみよう。

* 初級・中級の教科書では、教育用にピンインを分かち書きしているものが多いが、一般の文章にはピンインはない。どの文字群が単語がわからない場合は、適切な組み合わせをこのやり方で考える。

このような手順で、“我给妻子写信”は「私は妻

xiě xìn
写信

ピンイン
拼音がわからない場合は

索引へ

音訓索引 P.(91)~(112)

日本の常用漢字表に含まれる漢字
なら、日本語の音訓から調べられる。

例えば「我」なら「われ」や「ガ」を
見てみよう。

左
で
ダメ
なら

総画索引 P.(88)~(90)

部首がわかりづらい簡体字
のみ収録。

調べたい字の総画を数えて
調べてみよう。

妻 qī 女部 5 画 四 5040

全 8 画 常用

〈名〉妻。①夫～fūfū 〈夫婦〉/未婚～wèihūn-
qī (フィアンセ)。②夫fū, ⇒妻qī。

子 zǐ 子部 0 画 四 1740

全 3 画 常用

●〈名〉子。息子。①母～mǔzi (母と子)/～女
zǐnǚ/独生～dúshēngzǐ (一人息子)。●
〈素〉人。①男～nánzǐ (男の人)/女～nǚzǐ (女
の人)。●〈素〉古代の学問や徳のある人。先生。
①夫～fūzǐ (儒学者に対する尊称)/孔～Kǒng-
zǐ (孔子)/荀～Xúnzǐ (荀子)/諸 zhū ~百家
は。①～儿线(1束の糸)/～儿挂面(乾めん)
把)。●(zi)〈接尾〉名詞、動詞、形容詞の後に
つけて名詞を作る。また、量詞の後につけて語気を
強める。①旗～qízi (旗)/胡～húzi (ひげ)/筷
～kuàizi (はし)/胖～pàngzi (太っちょ)/参～

熟語がある時

【妻子】* ● qīzi 〈名〉妻と子供。妻子。● qīzi
〈名〉妻。⑤ 丈夫 zhàngfū。

①、②どちらの意味が確かめよう。
ピンインが分かる→この場合②の意味。
ピンインが分からない→文脈から考えよう。

我

给

妻子

写



信

名詞 前置詞
[主語]

名詞 名詞

動詞

名詞(目的語)

動詞句
[述語]

に手紙を書く」という意味なのだわかる。 -----➡

もっと使おう!
ステップアップ書へ

引き方ヘルプ ステップアップ編

熟語がない時の裏技

生芽 shēngyá の意味が知りたい…

(1) 親字語釈の中で探してみよう。

「芽生える」だとわかる。

生 shēng 生部 0 (四) 2510b
全 5 画 (五画)

- (動) 生む、生まれる。①～孩子(子供を産む)。
● (動) 生える。育つ。①～根 shēnggēn/～芽 shēngyá (芽生える)/～新～力量(新勢力)/～在中国(中国で育つ)。● (素) 生きること。①起死回生(死んだものを生き返らせる)/食(死)～怕死(命を惜しみ死をおそれる)。②死。●

舌敝唇枯 shé bì chún kū

の意味が知りたい…

轮裁 lúnzāi

(2) ④を探してみよう。似たような熟語や四字成句はねええるかも。

(同 (同義語・類義語) なので、
見出し熟語と似た意味だと
いうことがわかる。

【舌敝唇焦】shé bì chún jiāo (五画) 口をすっぱくして言う。①尽管我说得～，他还是不答应/私がどんなに口をすっぱくして言っても、彼は承諾しない。
④ 舌敝唇枯 kǔ。

【轮作】lúnzuò (動) (農業) 輪作する。④ 轮裁 lúnzāi, 轮种 lúnzhòng。⑤ 连作 liánzuò。

もっと使いこなそう

(1) 例文を読んで、使い方を理解しておこう。

【帮忙】* bāng/máng (動) (～儿) 助ける。手伝う。
①要我～吗?/お手伝いしましょうか。②请你帮个忙/ちょっと手伝っていただけませんか。③请你帮帮他的忙吧/彼を手伝ってやってください。④请大家帮帮忙。让开一条路/皆さん、すみませんが、ちょっと道をあけてください。

“//” は間に他の成分を挿入出来る記号。

「彼を手伝う」は「帮他的忙」だとわかる。こんなふうにはレベルアップ。

(2) 参考情報があれば知っておくと便利。

表現 用法 比較 由来 参考 注意 に注目。

そのほか、⇒ で示された見出し語も見よう。関連情報が出ている。

【部署】bùshǔ〈動〉手配する。配置する。㊦～工作/仕事の割りふりをする。㊦战略 zhànluè ～/戦略配置。㊦厂长 chángzhǎng ～/生産計画/工場長が生産計画をたてる。〔圧縮〕部署は、全面的で大規模な配分をいい、人事の異動や機構調整も含む。“布置 bùzhì”は、一般的な仕事や任務の手配をいう。〔医現〕日本語の「部署」は“(工作)岗位(gōngzuò)gāngwèi”, “职守 zhíshǒu”という。

【白骨精】báigǔjīng〈名〉『西遊記』に出てくる女の妖怪。〔国語〕悪辣な女性の比喩にも使う。

【六十四开】liùshí sì kāi〈名〉印刷用語で、64折り判。64折りの紙。⇒ 开本 kāiběn。

【白干儿】báigānr〈名〉コーリャンなどで造った蒸留酒。バイカル。㊦白酒 báijiǔ。〔国英〕透明で、水分が少ないことから。

【八宝饭】bābǎofàn〈名〉〔料理〕もち米に、干した果物や蓮の実、竜眼(ドラゴンフルーツ)やこしあんなどを混ぜて煮しあげた、甘いごはん。〔国英〕お粥にしたものは、“八宝粥 bābǎozhōu”という。

【八宝菜】bābǎocài〈名〉〔料理〕キエウリやチジャ、クルミやアンスなどを混ぜ、しょうゆで味付けした漬物。〔国英〕日本でいう「八宝菜」とは異なる。

【开本】kāiběn〈名〉書籍のサイズをあらわすことは全紙(または新聞紙を広げた大きさ)を基準としてその何分の1かで大きさを示す㊦十六～/全紙の16分の1の大きさ。

(3) 外来語、地名、人名も熟語に収録。ちよっぴり百科事典の機能も。

【李白】lǐ bái〈人名〉李白(701-762)。盛唐の詩人。字は太白。詩聖杜甫に対し、詩仙と称される。

-----> どんな人物かもわかる。

【牛津】niújīn〈地名〉オックスフォード(イギリス)。

-----> どの場所かもわかる。

【雷达】lídá〈名〉〔座 zuò〕レーダー。◇ radar。

-----> 外来語も収録。

【法郎】fǎláng〈名〉フラン。フランスやスイスなどの貨幣単位。◇ 法 franc。

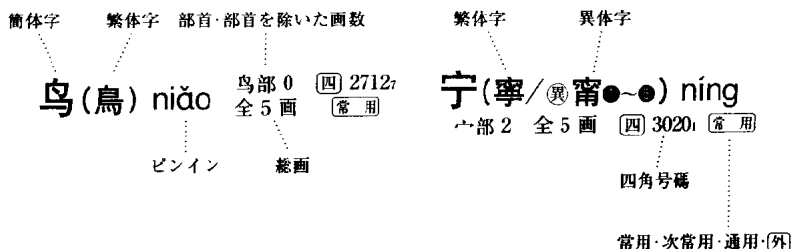
原語もわかる。

(4) さし絵で中国の雰囲気を感じよう。

凡 例

I. 親字について

1. 親字は簡体字を基本として、ピンインのアルファベット順、声調順に配列した。繁体字や異体字がある場合は()内に示した。繁体字と異体字の間は/で区切り、異体字には1文字目に(異)を付した。特定の語釈にのみ当てはまる字には、該当する語釈番号を添えた。
2. 本辞典では、簡体字・繁体字・異体字を合わせて約11,500字収録した。
3. すべての親字に、ピンイン・部首・部首を除いた画数・総画・四角号碼を掲げた。四角号碼については、P.(24)～(26)「四角号碼の使い方」を参照。
4. また、すべての親字に、常用字・次常用字・通用字のいずれであるかも表示した。いずれにも該当しない字は、(外)とした。常用字などについては、P.(6)～(7)「中国語の基礎知識と本辞典の特色」を参照。



5. 異読は、語釈の最後に⇒で示した。
6. 筆順の難しい字は、筆順を図解した。

II. 見出し語について

1. 見出し語は、同一の親字を先頭とするものを1つのグループとして、それぞれの親字の下にピンイン順にまとめて示した。
2. 一語に複数の表記があるものは、[]の中に()で併記した。
3. 「漢語水平詞彙等級大綱」中、最も基礎的な甲級単語約570語にはま、乙級単語約1400語には*を付した(熟語のみで、親字には付していない)。

III. 発音について

1. 発音はピンイン(拼音、中国式ローマ字)で表示した。
2. 音節見出しには、ピンインの他に注音符號・国際音声記号(IPA)、また、発音のおおまかな目安として日本語のカタカナ音を付した。



- 見出し語が離合詞の場合は、//で表示した。
- 一語中のある部分が軽声、または他の声調でも良い場合は、見出し語のピンインに続けて()で示した。
- 1つの見出し語で語釈によって発音が複数ある場合は、各語釈番号に続けて発音を示した。
- 「一」「不」の声調は、音節本来の声調で示した。
- 各語釈中の用例には、「漢字等級大綱」甲級・乙級以外の文字に付すことを目安に、ピンインを表示した。

Ⅳ. 語釈について

- 語義が複数あるものは、① ②…で分けた。一部の文法的に重要な親字については、Ⅰ Ⅱ…、① ②…、1) 2)…。① ②…と大項目の中に中・小項目が入る構成とした。
- 可能な限り品詞を付した。複数の語釈がある場合、すべての語釈で品詞が同じ場合は最初の語釈の前に、また語釈により違う場合はそれぞれの語釈番号のあとに表示した。なお、単独で使わないものには、〈素〉の記号を付した。
- 親字語釈で、→で見出し熟語に送られている場合は、そちらを参照のこと。
- 量詞は、〔 〕内に示した。
- “儿”または“的”を加えられる語は、(～儿)(～的)でそれぞれ示した。
- 用例の始まりはⅡで示した。親字語釈中の日本語訳は()で表示したが、その親字の見出し語として出てくる単語については、日本語訳は省略した。また、見出し熟語中の用例は、中国語と日本語訳を/で区切った。なお、大項目と中・小項目に分けて解説した親字語釈中の用例も、/で区切っている。
- 用例中の見出し相当語は、～で代用した。
- 日本語中の中国語は“ ”で囲んだ。
- 同義語・類義語は㊤で、反義語・対義語は㊦で表示した。
- 重ね型がある場合は、(重)で表示した。
- 語釈中、他の箇所の語釈番号が登場する場合は、混同を避けるため番号の白黒を反転させた。
- 原語は◇で示し、英語以外はㄣ、ㄣなど原語名を表示した。
- 関連情報のある見出し語は、⇨で示した。

Ⅴ. 付録

学習に役立つ各種の付録を併載した。

- | | |
|--------------------|----------------|
| ・「中国語」の基礎知識と本辞典の特色 | P. (6)～(7) |
| ・引き方ヘルプ(この辞書の使い方) | P. (8)～(11) |
| ・中国語の発音 | P. (15)～(19) |
| ・中国語音節表 | P. (20)～(23) |
| ・「四角号碼」の使い方 | P. (24)～(26) |
| ・日中小辞典 | P. 1,507～1,586 |
| ・中国語レファレンス案内 | P. 1,587 |

Ⅵ. 索引

巻頭に、「拼音索引」、「部首索引(簡体字)」、「部首索引(繁体字・異体字)」、「総画索引」、「音調索引」を掲載した。

VII. 各種記号

1. 品詞

〈名〉:名詞 〈動〉:動詞または動詞性の句 〈助動〉:助動詞 〈助〉:助詞
 〈形〉:形容詞 〈数〉:数詞 〈量〉:量詞 〈代〉:代名詞 〈副〉:副詞
 〈前〉:前置詞 〈接〉:接統詞 〈接頭〉:接頭辞 〈接尾〉:接尾辞
 〈擬〉:擬態語・擬声語 〈感〉:感嘆詞 〈素〉:語素(形態素)

2. 語の性格

〔文語〕:文語・書面語 〔口語〕:口語 〔方言〕:方言
 〔旧時〕:旧時(主として清末から民国期)の語 〔成語〕:成語・成句
 〔貶〕:けなす意味で用いることば 〔褒〕:ほめる意味で用いることば

3. 分野

〔医学〕:医学	〔印刷〕:印刷	〔映画〕:映画	〔音楽〕:音楽
〔貝〕:貝	〔化学〕:化学	〔機械〕:機械	〔気象〕:気象
〔軍事〕:軍事	〔経済〕:経済	〔芸能〕:芸能	〔建築〕:建築
〔交通〕:交通	〔鉱物〕:鉱物	〔国名〕:国名	〔魚〕:魚類
〔宗教〕:宗教	〔商標〕:商標	〔植物〕:植物	〔人名〕:人名
〔心理〕:心理	〔数学〕:数学	〔生物〕:生物	〔生理〕:生理
〔地名〕:地名	〔哲学〕:哲学	〔電気〕:電気	〔天文〕:天文
〔動物〕:動物	〔鳥〕:鳥類	〔農業〕:農業	〔美術〕:美術
〔服飾〕:服飾	〔仏教〕:仏教	〔物理〕:物理	〔文学〕:文学
〔法律〕:法律	〔虫〕:虫	〔料理〕:料理	〔歴史〕:歴史
〔薬〕:薬品・薬学・漢方薬		〔言語〕:言語・語法	
〔工業〕:工業・技術		〔コンピュータ〕:コンピュータ	
〔スポーツ〕:スポーツ・体育		〔中医〕:中国医学	

4. 参考情報

〔表現〕:表現上の参考情報	〔用法〕:用法上の参考情報
〔比較〕:類語などの比較	〔由来〕:その見出し語の由来
〔注意〕:発音などで注意すべき点	〔参考〕:その他の参考情報

中国語の発音

0. はじめに

中国語の発音をしっかり身につけるためには、教室で先生のレッスンを受けるのが一番ですが、ここではそのポイントをざっと挙げておきましょう。

1. 音節表をながめてみよう

まず、P. (20)～(23)の音節表をながめてください。

音節とは、「意味をもつ最も小さな音のかたまり」をいいます。この表は、たての欄に子音、横の欄に母音を並べてあります。子音と母音を組み合わせ、それに声調を加えると音節(Syllable)ができます。表をながめると、大きく空欄になっているところと、虫が食ったように穴のあいたところがあります。大きく空欄になっているのは、理論上その子音とその母音が結びつかないところです。

たとえば、j, q, x は、必ず i を伴う発音となるので、u, a などとはそのままでは結びつきません。虫食いになっているところは、理論上は結びつくのですが、意味を持たないものです。たとえば、f に ao の組み合わせである fao は、発音したところで何ら意味を生じません。日本語で、「ぐに、へげ」といったとしてもふつう何だかわからないのと同じです(もっとも方言などでは何か意味があるかもしれません)。

2. 音節の構造

ここで音節の構造についてひととおり説明しておきましょう。ふつう、この構造は、英語の頭文字をとって、

$$S = I + M + V + E / T$$

S	=	音節	(Syllable)
I	=	頭子音	(Initial Consonant)
M	=	介音	(Medial)
V	=	主母音	(Vowel)
E	=	韻尾	(Ending)
T	=	声調	(Tone)

とあらわします。

たとえば、「天 tiān」は、

$$S = I + M + V + E / T$$

$$\text{天 tiān} = t + i + a + n / \text{ㄣ} \text{ (1声)}$$

というように書きあらわすことができます。

声調の記号は、主母音の上につけます。つける場所については、

- ① “a”があれば、必ず“a”につける。
- ② “a”がなければ、“o”か“e”につける。
- ③ “iu”または“ui”のときは、後ろにつける。

なお、“i”に声調記号をつける時には、上の点をとって、

i i i i

とします。

3. 韻母

ここでは、まず母音とそれが介音・韻尾と組み合わせさせたものについて説明します。

①単韻母

(イ)舌面母音

(16) 中国語の発音

- i (yi) [i] 日本語の「イ」を唇の端を強く左右に引いて長めに発音する。
- u (wu) [u] 日本語の「ウ」を唇を丸めて強く突き出し長めに発音する。
- ü (yu) [y] 母音 i と u の混合母音。唇を丸めて「ウ」の構えを作り、舌は「イ」の位置に置く。「ウ」の口の形を保って「イー」と言ってみる。この時、唇の両端に力を入れて緊張させるのがコツ。
- a [a] 日本語の「ア」を長めに発音する。
- o [o] 日本語の「オ」を唇を丸めて強く突き出し長めに発音する。
- e [ɤ] 日本語の「エ」の口の構えで、日本語の「オ」または「ウ」を長めに発音する。
- ê (ê) [ɛ] 日本語の「エ」のように発音する。間投詞 ê を除けば、-ie (ye), -üe (yue), -ei の組み合わせの中に用いられ、単独では現れない。
- er [ər] 頭子音とは結合せず、単独で現れる。上記の e を発音すると同時に、舌尖を軟口蓋に向かって反り挙げる。ただし、「アル」と二音節にならないように注意する。

(ロ) 舌尖母音

いであらわされる舌尖母音は、そり舌音 zh-, ch-, sh-, r- とともに現れる舌尖後母音と、歯音 z-, c-, s- とともに現れる舌尖前母音の2種類がある。両者とも唇の端を強く左右に引いて「ウー」のように発音する。

② 複母音

(イ) 複母音

- ai [ae] 日本語の「アイ」のように発音する。
- ei [ei] 日本語の「エイ」のように発音する。
- ao [au] 日本語の「アオ」のように発音する。ただし、「オ」は唇を丸めて突き出し「オ」と「ウ」の中間の音を出す。
- ou [ou] 日本語の「オウ」のように発音する。ただし、「オ」も「ウ」も唇を丸めて緊張させ二重母音として発音する。「オー」のように単母音にならないように注意。

(ロ) 母音+鼻音

- an [an] 鼻音 -n は舌尖を歯茎に当てる。日本語の「ナ」na から母音要素の「ア」a を取り除いた発音。以下、-n はみな同じ要領で発音する。
- ang [aŋ] 鼻音 -ng は奥舌面を軟口蓋に当てる。日本語の鼻濁音「ンガ」nga から母音要素の「ア」a を取り除いた発音。以下、-ng はみな同じ要領で発音する。
- en [ən] 母音 -e- は日本語の「エ」ではなく、上記の単韻母の e の音色で発音する。
- eng [əŋ] この -e- も上記の -en のそれと同じ。
- in [in] -i と -n の間でかすかに [ə] を響かせると良い。
- ing [iəŋ] 上の -in と同様に、-i と -ng の間でかすかに [ə] を響かせる。
- ün [yn] -ü と -n の間にかすかに [ə] を響かせると良い。
- iong [yʊŋ] これは原理からすると -ü- と -ng の組み合わせでできている訳であるが、実際は [-iyʊŋ] のように発音する。単に日本語の「イオン」で発音するのではなく、やはり「イ」と「オン」の間にかすかに [ə] の音を響かせるのが良い。

③ 結合韻母

介音 -i-, -u-, -ü- とそれぞれの単韻母、複韻母を組み合わせれば結合韻母になります(ただし、-i-, -ü-, -in-, -ing-, -ün-, -iong はそれ自体 i, u, ü の要素をふくんでいるので、さらに結合韻母を作ることはない)。結合韻母は以下のものです。

-ia-, -io-, -ie-, -iao-, -iou-, -ian-, -ua-, -uo-, -uai-, -uei-, -uan-, -uen-, -uang-, -ueng-, -üe-, -üan

これらの内、以下は実際の発音またはスベルに特色があるので注意して下さい。

-ie [ie], -üe [ye] これらの「エ」は単韻母における ê に当たる。

-iou [iou] 組み合わせられる声調によってその音色に多少の違いがある。すなわち、第1声と第2声では「イウ」のように発音され、第3声と第4声では「イオウ」のように「オ」が顕著に発音される。頭子音と組み合わせる時は -iu と綴られ、単独で音節となる時は you と綴られる。

-ian [ien], -üan [yen] この二つの韻母に含まれる -a- は、前の -i- あるいは -ü- と後ろの -n に挟まれてその影響を受け(いずれも舌の位置が高い)、舌位の高い「エ」で発音される。